

☆Have a Dream Project 2024 始動☆

多治見高校の進路指導は、卒業後にどこへ行くかを定める「出口」の指導にとどまりません。人生山あり谷あり、いろいろなことがあります。どんな時にでも夢を見出し努力できる人になってほしい。そんな願いと期待をこめて今年も皆さんを支援します。これが「多治高のHave a Dream Project」です。

【今年度の重点ポイント①】 いわゆる新課程初年度生が3年生となり、毎週木曜6限は全学年が『総合的な探究の時間』に取り組む時間となりました。学年ごとのステージを意識し力をつけていきましょう。

【今年度の重点ポイント②】、昨年「進路係」→「進路探究委員」となり、今年度は正式に生徒会の委員会に昇格しました。昨年手探りの中スタートした進路指導室前の掲示を充実させ、皆さんが迷った時にふらっと訪れて、考えるきっかけ、相談する際のキーワードを得られる場所にします。先生発信の情報が多い中、この掲示は生徒目線の情報です。一日に一度は通るようルート設定をお願いします。

～当面の掲示担当～

	1年進路情報	2年進路情報	3年進路情報	1年探Q	2年探究ゼミ	3年探究(赤本)
5月	1F 石垣	2AB 西尾,古田, 佐古田	3BF 中嶋, 小嶋	1A 磯邊	2A 神村	3BD 福井,加瀬
6月	1E 服部	2CD 渡邊,高木	3A 久米	1C 池又	2E 阿部	3B 福井
7月		2EF 重松,鈴木	3D 横地	1D 春田	2C 脇田	3A 長江
8月	1C 安藤	2AB (同5月)	3CE 吉岡,原	1C 池又	2C 脇田	3A 長江

(文責：桑原)

『3年の窓』 「超人」にはなれないまでも、「竜」にあらがう「獅子」となれ。

4月になりました。新たな季節の訪れは、3年生諸君にとって如何なる意味を持つでしょうか。「受験生」として迎えてしまったこの一年間を、マイナスに捉えている人も多いかもしれません。朝早く起きて夜遅くまで学習するのはしんどいだろうし、成績が伸び悩んで志望校に手が届くか不安にあるだろうし、時には、よく出来る仲間(それが親友であっても)への恨み・妬みを抱くようなこともあるだろうと思われれます。去年の修学旅行まで、去年の文化祭まで、いや今年の春までせめて戻れたら…そんな声が、聞こえてくることもあるかもしれません。

フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ(1844-1900)は、19世紀後半、近代ヨーロッパにおいて、進歩主義史観-この世界は良くなっていく-が、徐々に崩れ始めた頃、虚無主義(ニヒリズム)-人々生きる意味を見失った状態-の蔓延を早々に予期していた哲学者の一人です。「多様性の時代」、別の言葉でいえば、「何かが絶対に正しいとは言い切れない現代」に大いなるヒントをくれる哲学は、文系理系問わず読む価値があります。西研『ツアラトウストラ』(NHK出版、2012)、竹田青嗣『ニーチェ入門』(ちくま新書、1994)あたりは、読みやすいし、抜群に面白いです。是非とも読んで欲しい。この「窓」からは語り尽くせない光景が広がっています。

「世界に意味などない。そんな世界が永遠に廻り到来し続ける」。ニーチェの残酷な哲学-「神」は死んだ-は、しかし、諸君が自分自身で奮い立つためのヒントなのです。「それがどうした。生きる意味、面白いことは、自分で見つけてやるよ。精一杯生きてやる」。もはや、「竜」-伝統・権威-の放つ「汝、為すべし」という炎に、立ち向かっていく「獅子」になる他、主体的に生きている(と信ずる)ことは難しいのです。要するに、「自分で」考えて、「自分で」結論を出す、昨年度の探究ゼミ活動で身に付けた力の一端を、発揮することが必要なのです。

「超人」になるのは難しい。ニーチェすら、発狂しました。でも、「これで良かった」「こうするしかなかった」を、「これが良かった」「私が選んだ」に変えることは出来ます。「運命」の一年を「愛」するために。(文責：奥田)

♪2年の窓♪ 「2年生をどれだけ充実させられるかが希望進路実現の鍵！」

今年度、縁あって2年生の担当になりました。3年生の担当になることが続いていたので、日々が新鮮です。また、ここ数年、「2年」のあり方に関心をもっていただけのため、この学年を担当できることに大変喜びを感じています。

なぜ、「2年」に関心があるのか。それは、皆さんが、この年次でどれだけ学習に励むことができるか、どれだけ進路意識を高めることができるか、どれほど部活動や委員会活動、探究活動等に打ち込むことができるか、が後の進路決定に本当に大きく関係するからです。担当者としては、皆さんを「やる気」にさせなければなりません。

2年生は、校内の様々な活動で中核的な役割を担い、途中からは、3年生が務めたリーダーの職を引き継ぐことになる立場です。また、後輩ができたことで、彼らを支援することが求められる一方、互いに競争し切磋琢磨することも求められます。これは1年次にはない新たなステージで、学業を頑張るのは当然ですが、人や集団・社会について考える力を磨く、見通しをもって物事に取り組む力を磨く等の点で、自分の視野を広げる大きなチャンスだと思います。是非、日々の生活に意欲的に取り組んで欲しいと思います。

私が2年生に期待することは、多々あります。①「探究ゼミ」で自分が「うわあ、楽しそうだ」と感じる研究テーマを設定し、関係する本を複数読む、またはフィールドワークで社会に触れる中で、自分が深く学びたいことは何かを考えましょう。また、日頃から学部・学科や大学等の資料をよく収集調査し、夏休みには、②関心をもった進路希望先のオープンキャンパスへ足を運び、「ここへ進学したい」という気持ちを強くしたいです。進路観がまだ定まらないという人は、日々の生活の充実さに注力し、進みたい路が見つかる時期が来るのを待ちましょう。そして、前に書いたように③部活動や委員会活動に積極的に取り組むとともに、④学習活動は妥協せず粘り強く行い、地力を高めましょう。最後に、⑤模擬試験は課題意識をもって準備し、確実な成果を求める取り組みにしましょう。

一年間、皆さんの頑張りをサポートします。よろしくお願いします。

(文責：石田)

♪1年の窓♪

「高校生活のリズムをつくろう！」

入学式から3週間が経ちました。少しずつ登校にも慣れ、友達もでき、生活に落ち着きが出てきたころかと思います。まず1年生として最も大事にしてほしいことは、「高校生としての生活のリズムを作ること」です。人によって通学方法、距離も違えば、忙しい部活、そうでない部活もあると思います。それぞれの生活にあった適切なリズムを作っていきましょう。集会でも話があった通り、「3点固定」はその上で、とても大切です。①起きる時間、②家に帰ってから勉強を始める時間、③寝る時間、の3点です。これがまだできなくても、少なくとも①起きる時間、③寝る時間、の2点固定は必ず実行しましょう。2点固定していれば、体調も安定すると思います。これは平日のみならず、休日についても同様です。「休日だからたくさん寝よう」と寝貯めする人がよくいます。しかし長く寝ても寝るのにもエネルギーを消費するため、逆に疲れてしまうことがよくあります。また、休日に長く寝ることで、月曜日が辛くなることも事実です。風が吹こうが、雨が降ろうが、自分の決めたルールを崩さない。パフォーマンスを落とさない人こそ、成功に近づくことができるのです。

2点固定が達成されたら、今度は3点目です。もうこの2週間で週末課題も出され、授業の宿題も出され、やることや提出するものが増えてきていると思います。これらのことをきちんとこなす為には“勉強の習慣化”が欠かせません。人は物事を始めるときが一番億劫に感じます。勉強を始める時間を決めておいてしまえば、「嫌だな、めんどくさいな」と思う前に勉強を始めることができます。一度やり始めてさえしまえば、そうそうすぐには勉強をやめないものです。是非この自分ルールを守り、勉強を「習慣化」させてしましましょう。目標は1年生のうちには平日3時間、休日は6時間です。最初のうちは大変だと感じるかもしれませんが、しかし、それが当たり前となったとき、人は確実に成長できているでしょう。

“習慣”は“力”です。目標を達成するために必要な“行動”をこつこつ積み重ねて“習慣”にしてみましょ。勉強はもちろん、部活や他の活動においても全く同じです。君たちの高校生活はまだ始まったばかりです。まだ何者にもなれません。是非この3年間の様々な場面で高い“目標”をもち、達成に必要な“行動”を重ね、“習慣”を作っていくましょ!!

(文責：若園)